

# 平成29年度 学校経営案

さいたま市立大谷場小学校

## ◎学校経営の基調

「学習指導要領」「さいたま市小学校教育課程編成要領」「さいたま市教育総合ビジョン」を踏まえ、安全・安心な環境を整備し、生きる力と希望をはぐくむ教育の推進を図り、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた児童を育成する。また、魅力ある学校・学年・学級づくりを進め、一人ひとりの児童がもっているよさ（多様な個性）を見いだし、それを伸ばしていくように心がける。

そのために、教職員一人ひとりが、教育への強い情熱と豊かな人間性をもち、専門職として必要な知識・技能を身に付けるよう不断の研修に励み、英知を結集して日々の教育活動を笑顔で推進していく。そして、家庭・地域・関係機関と連携・協力しながら、特色ある学校づくりを目指し、望ましい校風・伝統の継承と創造発展に努力する。

## 1 学校教育目標

— ひとみが輝く子 —

かしこく（知）： 思考力、判断力、表現力、創造力等

やさしく（徳）： 思いやり、協力、親切、礼儀等

たくましく（体）： 健康、体力、忍耐力、責任感、自立心等

☆ めざす学校像 —地域に根ざし信頼される学校—

- 成果の見える指導が展開できる学校
- 安全で美しく整えられた環境づくりがなされている学校
- 家庭や地域と心の通い合う学校

☆ めざす教師像 —さいたま市で一番授業力の優れた教師—

- 情熱と実践的指導力のある教師
- 笑顔で児童の心に寄り添う教師
- 常に学び続ける教師

## 2 学校経営方針

- (1) 安全・安心な環境を整備し、希望をはぐくむ教育を推進する。
- (2) 教育指導の一層の水準向上を図る。
  - ① 「学びの向上さいたまプラン」を踏まえた校内研究を核に、児童の確かな学力の向上を図る。
  - ② 「子ども輝きプラン」「さいたま市徳育プラン」を推進し、児童に豊かな人間性をはぐくむ。
  - ③ 「子どものための体力向上サポートプラン」等のもと、児童の体力向上やたくましさを養う。
  - ④ 「人間関係プログラム」等の充実に努め、全教育活動を通し、豊かな人間関係をはぐくむ。
- (3) 一人ひとりの教師力を高めるとともに、機動力のある組織をつくる。
- (4) 家庭・地域等との連携を図り、相互理解と信頼のもとに学校教育を推進する。

### 3 本年度の重点・努力点

<キーワード>

安全・安心

情熱・チーム大谷場

#### (1) 安全・安心な環境と希望をはぐくむ教育

- ・「危機管理マニュアル」をもとに、実践的な訓練や研修を重ね、危機対応能力の向上を図る。
- ・児童理解を深め、生徒指導・教育相談の充実を図る。  
(・教育相談研修の充実 ・校内支援体制の強化 ・ケース会議等の開催と活用 ・関係諸機関との連携)
- ・特別支援学級の教育活動を核に、特別支援教育の充実を図る。(校内委員会の充実等)
- ・大谷場中学校区4校間の連携を一層深め、一貫性のある指導を行い、小・中一貫教育を推進する。
- ・「学校安心メール」の活用やHP更新等による情報発信により、安心・信頼を獲得する。

#### (2) 教育指導の一層の水準向上

##### ① 確かな学力の向上

- ・授業日数205日の中で学習指導要領の内容を確実に実施し、教育課程の充実に努める。
- ・よい授業の推進と学習規律の徹底を図る。
- ・研究指定校(H29)として、校内研究を核に、教師の指導力(授業・生徒指導・教育相談)の向上を図る。
- ・グローバルスタディ科の指導の充実を図る。

##### ② 豊かな心の育成

- ・「心を潤す4つの言葉」の浸透と「あいさつ運動」のさらなる活性化や、生活規律の徹底を図る。
- ・「縦割り活動」や地域との関わり等、人とのふれあいの充実を通して、思いやりや感謝の心を育てる。
- ・「いのちの支え合い」を学ぶ授業等を通し、生命尊重教育を推進する。
- ・美しい環境づくり(清掃・緑化・掲示)に児童が主体的に関わることにより、美しい心をはぐくむ。

##### ③ 健やかな体やたくましさの育成

- ・「新体力アップメニュー」「体力アップキャンペーン」等の推進により、児童の体力向上に努める。
- ・食材に関する情報提供を含む学校給食の充実や「学校教育ファーム事業」を通し、食育を一層推進する。
- ・家庭・地域との連携を図り、「すくすく のびのび こどもの生活習慣向上」キャンペーンを推進する。

##### ④ 豊かな人間関係の構築

- ・教育相談体制の充実を図り、家庭や関係機関と連携して早期発見・早期対応を心掛け、いじめ防止や不登校対策に努める。(教育相談週間・教育相談日や相談室の有効活用・アンケートの計画的実施等)
- ・「人間関係プログラム」「特別活動(児童会主体の活動)」「特別支援学級との交流」等を通し、豊かなかかわり合いを大切にする教育の推進を図る。

#### (3) 教師力向上と機動力ある組織

- ・教育への強い情熱をもち、その子のよさや可能性を伸ばす学級・学年経営に努める。
- ・個(担任)の対応のみに頼らない、各主任を中心とした組織的対応にこころがける。
- ・「報告・連絡・相談・確認・見届け」を徹底し、共通理解・共通行動を推進する。
- ・ベテラン教員と若手教員が、学び合い、互いに切磋琢磨する。
- ・教員一人ひとりが高い危機管理意識をもって、法令遵守と説明責任を果たす。
- ・校務用コンピュータの積極的活用等により、事務の効率化を図る。

#### (4) 家庭・地域等との一層の連携

- ・保護者や地域には、笑顔で「迅速・誠実・アフターケア」を心がけ、信頼関係を構築する。
- ・PTA活動と連動させ、SSN(スクールサポートネットワーク)の充実を図る。
- ・「学校安全ネットワーク」や「ふたばチャレンジスクール」のさらなる充実を図る。
- ・外部評価等を真摯に受けとめ、PDCAのマネジメントサイクルを機能させる。